

東日本大震災復興支援 第 27 回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会 2014 大会概要

1. 大会名称 東日本大震災復興支援
第 27 回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会 2014
2. 目的 (1) 各都道府県間の交流の活性化を図り、併せて中学生の競技力の向上を目指す。(強化)
(2) 各地区・各チームのリーダーの育成を図り、中学校のバスケットボールの一層の普及を目指す。(普及)
3. 主催 公益財団法人日本バスケットボール協会
4. 主管 東京都バスケットボール協会、埼玉県バスケットボール協会、千葉県バスケットボール協会
一般社団法人神奈川県バスケットボール協会、さいたま市バスケットボール協会
市川市バスケットボール協会、浦安市バスケットボール協会、湘南地区バスケットボール協会
藤沢市バスケットボール協会、川崎市バスケットボール協会
5. 後援 文部科学省、公益財団法人日本中学校体育連盟
東京都教育委員会、埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会、神奈川県教育委員会
さいたま市教育委員会、市川市教育委員会、浦安市教育委員会、藤沢市教育委員会、川崎市教育委員会
東京都中学校体育連盟、埼玉県中学校体育連盟、千葉県小中学校体育連盟、神奈川県中学校体育連盟
朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社
6. 協賛 アシックスジャパン株式会社、株式会社明治、トップツアー株式会社、株式会社 P&P 浜松
株式会社モルテン、ゼビオグループ
7. 大会期日 平成 26 年 3 月 28 日(金)・29 日(土)・30 日(日)
8. 大会会場 東京体育館、さいたま市記念総合体育館、市川市塩浜市民体育館
浦安市運動公園総合体育館、藤沢市秩父宮記念体育館、川崎市体育館
9. 参加資格 (1) (公財) 日本バスケットボール協会に加盟登録されたチームであること
(2) (公財) 日本バスケットボール協会に競技者登録された選手であること
(3) 各都道府県代表および開催地代表選抜男女各 1 チーム。開催地代表チームは各都道府県チームと
同じ扱いとする
(4) 都道府県代表チームは、(公財) 日本バスケットボール協会に登録された中学校の生徒で、各都道府県の
定める方法により選抜された複数校の 1・2 年生の選手で構成する
(5) 開催地代表の編成は開催都道府県に一任するが、上記(3)および下記 10(編成)の規定を準用すること
10. 編成 選抜チームの編成にあたっては、次のことに厳守すること
(1) チームの編成はスタッフ 3 名(コーチ、アシスタント・コーチ、マネージャー)および選手 12 名以内とする。
但し、スタッフのうち最低 1 名は中学校の教員とすること。また「ベンチで指揮を執る者」は、有資格者
(JBA 公認コーチ)であること
(2) 選手の選抜方法は、各都道府県の定める方法によるが、単に学校の大会成績のみでなく、真に選手の
力量によって選抜すること
(3) 選手の選抜にあたっては、各協会は管下の都道府県全域にあまねく目を向け、最強の都道府県中学生
選抜チームを編成すること
(4) 1 校からの選抜は、最多でも 4 名までとすること
11. 競技規則 現行の(公財)日本バスケットボール協会競技規則による
12. 競技方法 大会第 1 日 参加チームを 16 ブロックに分け予選リーグを行う
大会第 2 日 各ブロック 1 位チームによる決勝トーナメント 1・2 回戦
大会第 3 日 決勝トーナメント準決勝戦、決勝戦
13. 表彰 (1) 優勝チームには、(公財) 日本バスケットボール協会より優勝杯を、
1~3 位には(公財) 日本バスケットボール協会より賞状楯およびメダルを授与する
(2) (公財) 日本バスケットボール協会より優秀選手賞および最優秀選手賞を授与する